

特集 「Welcome to the World of Color Science: 色彩学の体験授業・導入教育事例」
 Special Issue: Welcome to the World of Color Science: Publishing and archiving of trial lectures on color science

オープンキャンパスで色彩を学ぶ - 配色デザインに関する演習型体験授業 -
 Color Studies at Open Campus : Workshop on Color Scheme Design

渡辺 明日香
 Asuka Watanabe

共立女子短期大学
 Kyoritsu Women's Junior College

キーワード：オープンキャンパス、体験授業、カラーコーディネート、配色デザイン、デジタルカラー
 Keywords : open campus, trial lesson, color coordination, color scheme design, digital color

1. 色彩をテーマとした体験授業の例

オープンキャンパスは、受験生や保護者向けにキャンパスを開放し、大学の特徴や雰囲気を知つてもらうイベントとして、多くの大学が採用している。学部・科紹介・入試情報、キャンパスツアーや学食体験による施設・設備紹介、模擬授業を通じた学びの体験、教職員や在学生との交流の機会が設けられ、受験生にとって大学選びの参考となる機会であり、大学側にとっても受験生獲得のための重要なイベントとして位置付けられている。共立女子大学・共立女子短期大学では、2024年度は全体で8回のオープンキャンパスがあり、これに加えて、短期大学向けのミニオープンキャンパスを3回実施している。

オープンキャンパスにおいて実施される色彩に関する体験授業の例を把握するため、「オープンキャンパス」「大学」「体験授業」「色彩」のキーワード検索、各大学のホームページで収集した体験授業のテーマ一覧を示す（表1）。

過去のオープンキャンパス情報は、年度が変わると更新されてしまうこと、大学独自のオープンキャンパスアカウントがないと詳細が確認できないケースがあるため、実際にはより多くの色彩に関する体験授業が行われていると思われるが、情報・デザイン・美術・工学・工芸・服飾・農学・食物・児童・文芸・心理といった幅広い分野で色「を」学ぶ、あるいは、色「で」学ぶ授業が展開されている。

いずれも、興味を惹く呼びかけ型のタイトル（～しよう！）や、初学者でも気軽に参加できる「入門」「ちょっと体験」「楽しいワーク」等の親しみやすいタイトルがつけられ、実験やワークショップなど、体験型のものが多く、高校生に親しみやすく、受けてみたいと思わせる内容になっている。

2. 体験授業で色彩を扱うことの目的

筆者の所属する生活科学科は、1950年に発足し、

2025年には創設75年を迎える短期大学である。「ITメディア」「生活デザイン」の2コースがあり、それぞれに色彩に関連した授業がある。ITメディアコースでは、CG、Web、DTP、動画編集などで、デジタルカラー、グラフィックデザイン、パッケージデザイン、プロセス印刷の基本などを学ぶ。生活デザインコースでは、フード、プロダクト、ファッショング、インテリア、CADなどで、カラーコーディネート、ユニバーサルカラー、商品色彩、トレンドカラーなどを学び、卒業研究でも色彩をテーマに論文や作品制作に取り組む学生がいることから、体験授業で

表1 色彩をテーマとしたオープンキャンパス体験授業の一例

体験授業テーマ	大学・学部・学科・コース	開催時期
簡単バーソナルカラーでお似合い服を見つけよう	戸板女子短期大学	2023年4月
今年のトレンドカラーでさらに輝く指先へ	戸板女子短期大学	2023年4月
安全・危険を「色」で伝えるー危機管理と色彩心理学ー	日本大学危機管理学部	2023年7月
錯視で学ぶ見るしくみ	立命館大学総合心理学部	2023年8月
色あそぼう！色水あそびとカラーポトル作り	大垣女子短期大学幼児教育学科	2023年8月
色のない世界を体験しよう！	近畿大学文芸学部	2023年8月
ちょっと栄養士体験・食品の色を科学する！～天然色素のみみつ～	神戸女子短期大学食物栄養学科	2023年9月
色を知り色を楽しむ～学校の桜、何色に染まるかな？～	佐野日本大学短期大学ビジネスフィールド	2024年4月
情報・デザイン分野～色と形のマジック～	近畿大学九州短期大学生活福祉情報科	2024年5月
色をテーマにパッケージデザインに挑戦	金沢学院短期大学現代教養学科	2024年5月
「色彩の不思議」アーティストと共に自分だけの色を創り出す楽しいワーク！	松山東雲女子大学人文科学部心理子ども学科	2024年6月
プロから学ぶマイク講座 『自分がハッピーにする色でマイクを楽しもう！』	埼玉女子短期大学	2024年7月
ビジュアルデザインのエッセンス ～色彩の持つ役割と影響とは？～	十文字学園女子大学社会情報デザイン学部	2024年7月
人の視覚、感覚について知りましょう	愛知県立大学スマートデザイン学科	2024年7月
カニをやると赤くなるのはなぜか？ ～タンパク質と色の科学	茨城大学工学部	2024年7月
色とりどり染め体験（絞り染め）	京都芸術大学 美術工芸学科	2024年8月
色彩学&バーソナルカラー 「きっと誰かに話したくなる、色の不思議な世界」	千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科	2024年8月
ファッショニンデザイナーの色使いを分析してみよう	東京家政大学服飾美術学科	2024年8月
赤、白、黄色、黒⁈ ー花の色のしくみ	玉川大学 農学部環境農学科	2024年8月
色の力をセルフプロモーションに活用しよう	杉野服飾大学	2024年8月
色を分類してみよう！	東京家政大学現代家政学科	2024年8月
小さな絵画一ガラスで絵一 色を使って静物を描いてみよう！	日本大学芸術学部美術学科	2024年8月
小さな金はどんな色？/The color of small gold particles	東京大学理工学部	2024年8月
ファッショニンデザイナーと色彩	大妻女子大学家政学部被服学科	2024年8月
知つて納得！推し色の世界	共立女子短期大学生活科学科	2024年7月
デジタル・カラーコーディネート入門	共立女子短期大学生活科学科	2024年8月
PowerPointのアート機能を利用したカラーパレット作成 テクニック	共立女子短期大学生活科学科	2024年8月

も、色彩をテーマとする機会がある。2年間でOfficeとAdobeCCのアプリケーションが一通りマスターできる強みを受験生に周知し、情報演習室などの施設・設備を体験してもらう目的から、PCを用いた体験授業を行うことが多い。

特定の授業のダイジェスト版をわかりやすく紹介する場合もあれば、生活科学に関連した色彩を包括的に紹介する場合もあるが、共通点は、生活科学という学問領域に興味を持ってもらい、コースのカリキュラムの特徴を理解してもらい、演習を体験することで、受験生が入学後の学びの姿を具体的にイメージできるような授業を設計することに重点を置いていることがある。

3. 配色デザインに関する演習型体験授業

ここからは、筆者が担当している体験授業の事例を2つ紹介する。どちらの体験授業も40分間での実施である。

事例1)「プロダクトのカラーコーディネート体験」

用意するもの：新配色カード199bやトーナルカラー、組み立て式の箱、透明フィルムシール、ハサミ、のり

授業の導入として、20分程度の講義を行う。内容は、カラーコーディネーターの仕事、色彩検定の紹介などを行い、プロダクトデザインとは何か、プロダクトのデザインを考える上で、色彩が果たす役割や色を選ぶ際のポイント、身近なプロダクト（コスメ、ファッショング、文具、家電、インテリア、お菓子や飲料品）の色や配色の事例紹介、色相とトーンの考え方、配色の基本的なルール、カラースキームについて説明する。

次にパッケージの配色を考えるワークに取り掛かる。カレーやクッキーなど、味と色のイメージが結びつきやすい食品パッケージを題材とし、あらかじめ用意した組み立て式の箱（B5サイズ程



図1 色を選ぶワークの様子

度）の表面に配色カードから色を選び、好きな形にカットして並べてのりでとめ、上からロゴを印字した透明シールを貼って完成させる。作品制作の前に、甘さ、酸味、辛さを感じる色など、味覚と色の関係や、高級感のある色、和の雰囲気のある色など、イメージに合う色を配色カードからピックアップしてもらい選んだカードを確認しあうウォーミングアップを入れると、パッケージの色選びの作業がスムーズに運ぶ。完成した作品は参加者で共有し、授業全体の振り返りを行う。

事例2)「Photoshopでカラーコーディネート」

用意するもの：線画のPhotoshopデータ、PCCS色相・トーン一覧表、参加者が使用するPCのPhotoshopを立ち上げ、使用するファイルを開いた状態にして準備をしておく。iPadで演習を行う場合は、Adobe Frescoを用いる。

導入部分では、色の三属性、デジタルカラーの色再現、色相やトーンを基軸とした配色ルールを紹介する。

次に、Photoshopの基本操作を説明した上で、ファンションやインテリア、プロダクトの線画データを用い、色を塗りたい範囲を選択し、PCCSの色相・トーン一覧表から任意の色を選び、塗りつぶしツールで色を指定する作業を繰り返し、配色を完成させる。作品はプリントアウトして体験授業の記念に持ち帰ってもらう。同じ下絵でも、選ぶ色や配色によってイメージが異なることが、参加者の作品を通じて理解できるため、カラーコーディネートの可能性を伝えるのに適している。

どちらの授業ともに、15分程度の短時間で作品を仕上げるために、作品サンプルを提示し、参加者の周りを教員や助手、学生スタッフが巡回して、こまめにアドバイスをしながら進めると、和やかな雰囲気で創作することができる。



図2 作業マニュアル（上）と
iPadを使用した授業の様子

4. まとめ

参加者のなかには、オープンキャンパスにリピート来訪してくれたり、総合型選抜入試の志願書や面接時にカラーコーディネートを学びたいと明言してくれたりする受験生がいて、担当者として非常に嬉しい限りである。大学選びの貴重なオープンキャンパスで、色彩に関する体験授業を実施することは、学部・科の特徴を伝えることに加えて、色彩学の魅力をアピールできる絶好の機会でもあると考えている。